

2026年9月期第3四半期連結決算発表

営業利益12.5%増 4期連続増収増益へ

株式会社ブランジスタ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岩本恵了、証券コード:6176 以下、当社）は本日、2026 年 9 月期第 3 四半期連結決算を発表いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2026 年 9 月期第 3 四半期連結業績の概要

(%表示は対前年増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026 年9月期第 3 四半期	3,701	△2.8	844	12.5	759	1.6	1,878	315.0
2025 年9月期第 3 四半期	3,809	8.9	750	13.3	747	13.5	452	8.9

セグメント情報

(%表示は対前年増減率)

	プロモーション支援事業		メディア事業		ソリューション事業	
売上高	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026 年9月期第 3 四半期	1,616	7.3	1,440	△1.1	590	△24.7
2025 年9月期第 3 四半期	1,506	26.9	1,455	△6.6	785	12.2
セグメント利益						
2026 年9月期第 3 四半期	660	4.5	235	46.1	90	△10.9
2025 年9月期第 3 四半期	631	47.6	161	△20.0	101	△34.2

当連結会計期間においては、プロモーション支援事業の「アクセルジャパン」において、利益率の高い更新売上が引き続き好調に推移しただけでなく、メディア事業における効率的な広告運用によって販売費及び一般管理費が減少したため、12.5%の営業増益となりました。

プロモーション支援事業の「アクセルジャパン」では、好調な更新売上が順調に増加していることに加え、注力している金融機関パートナーとの連携拡大が順調に進捗しており、その成果が段階的に新規売上の増加に寄与していることから、増収増益となりました。第4四半期連結会計期間においては、広告表現の拡張を可能とする高単価の新プランや新アンバサダーの投入を行い、今後も金融機関パートナーとの連携拡大を推進するとともに、紹介案件数の増加促進にも注力し、発表しております業績予想の達成に向けて、順調な進捗となっております。

メディア事業では、新たに開始しております宿泊予約サービスの事業化が順調に進捗しており、業績においては、宿泊施設や飲食店などの民間の売上が引き続き好調に推移しております。一方、地方自治体とのタイアップ広告売上の季節要因による減収に伴い、売上高が減少いたしました。集客を目的とした広告運用の効率化が図られたことで、46.1%の増益となっております。第4四半

期連結会計期間においては、民間の売上は今後も堅調な推移を見込んでおり、第4四半期（7～9月）に偏重する自治体タイアップ広告が増加する予定であり、業績予想の達成に向けて引き続き営業活動を強化してまいります。

ソリューション事業では、3Dホログラム映像演出サービスの売上低下と顧客企業の配送数減少に伴うブランジスタ物流の減少影響により、売上高及びセグメント利益が減少しておりますが、ECサポート売上は堅調に推移しております。第4四半期連結会計期間においても、ECサポート売上の堅調な推移を見込んでおります。

以上のことから、メディア事業の堅調な推移に加えて、プロモーション支援事業が引き続き業績を牽引する見込みであり、当連結会計年度（2026年9月期）の連結業績予想は、4期連続の増収増益を達成し、過去最高業績を更新する見通しです。

本日の決算発表に合わせて、2026年9月期第3四半期決算説明資料などを公開しております。詳細につきましては、以下をご覧ください。

2026年9月期第3四半期決算短信（連結）

<https://www.brangista.com/ir/library/2026/if3ia58rs2wwzm23gr.pdf>

2026年9月期第3四半期決算説明資料

<https://www.brangista.com/ir/presentation-materials.html>



株式会社ブランジスタ

<https://www.brangista.com/>

本社所在地：〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 20-4

代表者：代表取締役 岩本恵了

設立：2000年11月

資本金：2,019百万円（資本剰余金含む 2026年3月31日現在）

事業内容：企業プロモーション、電子雑誌、ソリューション